

令和 6 年 6 月 19 日現在

機関番号：23803

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K02203

研究課題名（和文）アジアの高齢者ケアと介護人材育成の方向性

研究課題名（英文）Directions for long-term care and the development of care workers in Asia

研究代表者

天野 ゆかり（AMANO, Yukari）

静岡県立大学・経営情報学部・講師

研究者番号：60469484

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、ベトナム、タイ、インドネシア、中国等アジア各国の高齢者ケアに関する政策や、介護に関するサービスや人材育成に関する調査を実施してきた。特にベトナムは、日本に最も多くの介護人材を送り出していることもあり、本研究の中心的な対象国であった。2020年に初めて「ベトナムにおける職業リスト」に介護士が位置づけられたことから、今後の介護の職業化と資格化に向けた課題や、日越において介護の実践や教育に関わる専門職のインタビューの分析を通し、ベトナムの高齢者ケアに適した介護人材の教育の必要性と日本が果たすべき役割や課題について考察した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アジア各国の急速な高齢化の伸展により、高齢者ケアサービスの開発や社会的ニーズに対応した介護人材の育成が喫緊の課題となっている。一方で、介護保険制度により展開される日本の介護の理念や一連のサービスを対象国にそのまま移転することは困難である。現状では、アジア各国から日本に多くの人介護人材を受け入れ、介護福祉士の取得等による定着と活躍の推進に多くの関心が寄せられている。しかし本研究では、人材を送り出すアジア各国の高齢者ケアや関連施策、その国の介護に対するあり様を知ることの重要性に焦点をあて、アジア全体にとっての介護サービスの発展のために、日本が果たすべき役割について言及した点について意義がある。

研究成果の概要（英文）：In this study, we have conducted research on policies related to elderly care and services, as well as workforce development in caregiving across various Asian countries including Vietnam, Thailand, Indonesia, and China. Vietnam, in particular, has been a focal country due to its status as the largest source of caregiving personnel sent to Japan. Since 2020, when caregivers were first recognized on Vietnam's "Occupational List," we have examined challenges toward professionalizing and certifying caregiving, and analyzed interviews with specialized professionals involved in caregiving practices and education in both Vietnam and Japan. Through these efforts, we have explored the necessity of educating caregiving personnel suitable for Vietnam's elderly care needs, and discussed the roles and challenges Japan should undertake and address in this context.

研究分野：介護福祉学

キーワード：アジア 高齢者ケア 介護 介護人材 介護人材育成 高齢者政策

1. 研究開始当初の背景

急速な人口の高齢化は世界規模の課題である。それに伴う財源、医療・介護人材、高齢者の健康増進やケアの質の確保など、取り組むべき課題は山積している。2015年の国連総会決議では、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、これに伴い世界保健機関（WHO）は「高齢化と健康に関するワールド・レポート」（2015）を作成した。つまり、「健康な高齢化」の実現に向け、介護人材の育成と介護の質保証について、戦略的かつ世界的に取り組むことが求められていると言える。

日本では、2015年の国連総会決議として定めたSDGsの「目標3」であるUHC（誰もが、どこでも、お金に困ることなく、自分の必要な質の良い保健・医療サービスを受けられる状態）の達成を視野に、内閣官房健康・医療戦略推進本部により「アジア健康構想に向けた基本方針」（2016）が策定された。アジア健康構想では、「日本で介護を学ぶアジアの人材を増やすとともに、日本の介護事業者のアジアへの展開や相手国自らが介護事業を興すことを支援することにより、日本で学んだ人材が自国等に戻った際の職場を創出し、アジア全体での人材育成と産業振興の好循環の形成を目指すもの」とした。つまり、日本は自国の高齢化対策と介護人材の確保だけでなく、アジアからの外国人介護人材を受け入れ、同時に、介護事業と人材の好循環をはかり、アジアの高齢化と介護システムの開発に貢献するという役割を担っている。また、世界で最も高齢化が進展し、シルバー産業が発展している我が国の政策、医療、介護について、アジア各国からも強い関心が寄せられており、技術や教育といった支援も期待されている。

日本における急速な介護人材の受入れ制度の変化や、送り出し国の高齢者関連政策や資格化の動きが活発化する中で、日本の介護人材育成の蓄積が、介護の歴史や制度、課題、方向性が十分検討されないまま、単なる「介護人材育成カリキュラム」としてアジア各国に広がるという危惧もある。アジア健康構想においても、「日本式介護」や「自立の支援」の移転といったキーワードが注目されるが、果たして「日本式介護とは何なのか」「他の国の介護の理念や方法と何が違うのか」といった学問的・社会的問いに十分こたえるだけの研究蓄積がない。日本がアジアの高齢化に対応する介護システムの開発に貢献するという使命を果たすためには、日本が、アジアの人々の生活や高齢者ケアに関する制度や実践について理解した上で、アジアの持続可能な人材育成について学術的に考察する必要がある。

2. 研究の目的

そこで本研究では、日本やアジアで語られる「日本式介護（KAIGO）」や「自立の支援」といった理念や概念を紐解きながら、アジア各国で展開されている高齢者ケアの状況とあわせて、高齢化等の社会状況に応じた高齢者ケアや介護に関する資格制度の動向を明らかにすることを目的とする。

3. 研究の方法

- (1) 現地調査や文献調査により、アジア各国の高齢者ケアや関連制度、介護士の資格化の動向を明らかにする。
- (2) 日本国内で就労する外国人介護人材へのインタビュー調査により、日本の介護をどのように捉えているかを明らかにする。
- (3) 介護人材の受入れ、送り出し、教育、政策に関わる専門職へのインタビューを通し、外国人介護人材受入の課題や、人材還流の実現可能性等について明らかにする。

4. 研究成果

本研究期間においては、世界的なパンデミックにより国内外の調査に支障をきたしただけでなく、介護人材の国際移動や高齢者ケアサービスの実施等においても著しい制限があったため、当初予想された介護サービスや人材育成における国際間の活発な交流はみられなかった。

一方で、その副産物として、オンラインを活用したセミナーや教育などの交流が一気に進展し、現地に行かなければできなかった調査もオンラインにて補完することが可能となった。

こういった背景の中で、主に以下のような成果を得た。

- (1) ベトナムにおける高齢者政策の変遷のとりまとめ、ベトナムの「2030年までの高齢者ヘルスケアプログラムを実施するためのアクションプラン」を日本語に翻訳し、そこに示されている「高齢者のヘルスケアに関する職業分類コード・研修プログラム・教材等を規定する」という一文に着目し、ベトナムにおいてはじめて介護士（ヘルスケアサポートスタッフ）が、国の職業コードに登録され、それに付随する資格教育の準備に着手していることを明らかにした。また、関係者のヒヤリングを通し、ベトナム看護協会と日本のNGO（AHPネットワークス）等が連携していることを明らかにし、ベトナムの高齢者ケアの発展に日本が重要な役割を担っていることを明らかにし、これらを論文として公表した。
- (2) ベトナム人のための介護福祉士国家試験合格を目指した学習支援については、隠れ漢字圏とも言われるベトナム人にとって、漢越語（漢字起源語が多く含まれ日本語の漢語と音韻

的・意味的に重なる語も多い)を活用した学習支援の可能性と効果について考察した。合わせて、EPA等で介護福祉士に合格したベトナム人も多く、ベトナム人を講師やピアサポーターとした介護福祉士受験対策の実施により、日本語とベトナム語を用いることで学習意欲や成績の向上につながることを明らかにし、これらの成果を学会、論文で公表した。

- (3) タイにおいては、ベトナムよりも高齢化が進展しており、経済発展も伴って家族による高齢者のケアの担保が困難になってきている。現地調査では、自治体主導型のコミュニティケアが急速に発展してきており、ここでも日本のNGOや自治体との交流による学び合いの経験が、高齢者ケアの施策・事業に影響していることが確認できた。

また、日本の企業や法人が現地の病院等と契約し、日本で培った高齢者のリハビリテーションや自立支援を目指す介護の知見を活かし、デイケアサービスを展開し事業拡大していることを確認した。

同様に、ベトナムでも日本の企業が現地の医療法人と提携し、「自立支援介護」のノウハウを活かしたサービスの提供と、日本への派遣を前提とした介護人材育成を実施していた。また、ベトナムの企業が日本人の介護福祉専門職を雇用し、老人ホームや高齢者デイケアセンターでの日本の介護の知見を取り入れていた。

このように、ベトナムやタイから介護人材を受け入れるだけでなく、日本の企業が現地に進出し、現地の制度やニーズを踏まえて、日本の介護の知見を応用、発展させていることを確認し、アジア健康構想が描いた人材の還流や介護産業の振興による好循環の萌芽となっていることを明らかにした。

- (4) 「日本式介護」や「KAIGO」など、海外からすれば日本で展開される一連の日本の介護サービスは、きめ細やかで質が高いと評されることが多い。しかし、他国と比べて日本の介護の特徴が何か、と言われても明確な定義はない。これらについて、日本とベトナム両国で介護や介護人材の教育に関わる経験豊かな専門職5名へのインタビューとその分析を通し、日本の介護の特徴やベトナムに伝えるべき内容について考察した。(現在論文投稿準備中)

- (5) これらの成果については、学会発表、論文投稿、各種セミナーでの発表に加え、厚生労働省など国の事業や、静岡県をはじめとする自治体の介護人材の施策・事業に関与することで還元されており、学術だけでなく、社会的課題に対応しうる成果を残した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 5件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 PHAN THI MY LOAN , 佐々木良造 , 比留間洋一 , 道上史絵	4. 巻 6
2. 論文標題 介護福祉士国家試験出現漢字語彙のなかの漢越語に関する基礎調査	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 外国語教育のフロンティア	6. 最初と最後の頁 91-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 比留間洋一 , Le Thi Bich Hop , 柳瀬志穂	4. 巻 27
2. 論文標題 ベトナム人留学生を対象とした介護福祉士国家試験対策のアクション・リサーチ-母語を用いた補講の可能性-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 介護福祉教育	6. 最初と最後の頁 39-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yoichi Hiruma , Yukari Amano , Yuko O. Hirano	4. 巻 6
2. 論文標題 Return Migration of Vietnamese Nursing Graduates: Trajectories of the First Batch of EPA Care Workers in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Agents of Care Technology Transfer Trends and challenges of migration care workers across borders	6. 最初と最後の頁 36-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 PHAN THIY LOAN , 道上史絵 , 比留間洋一	4. 巻 5
2. 論文標題 「ベトナム人中上級日本語学習者の漢字習得における漢越語利用 - 介護福祉士国家試験対策の考案に向けた基礎研究 - 」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 外国語教育のフロンティア (大阪大学大学院言語文化研究科)	6. 最初と最後の頁 55-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00028598	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木良造, 比留間洋一	4. 巻 4
2. 論文標題 「ベトナム人介護留学生による介護福祉士国家試験問題の読解過程における漢越語利用のケーススタディ」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 静岡大学国際連携推進機構紀要	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14945/00028598	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 比留間洋一, 天野ゆかり	4. 巻 22 (1)
2. 論文標題 EPA介護福祉士候補者のモチベーションの変化と国家試験の影響 ベトナム 人1期生の事例 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 47-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野ゆかり	4. 巻 25
2. 論文標題 静岡県における外国人介護人材の受け入れと介護福祉士資格取得に向けた支援	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第25回静岡健康・長寿学術フォーラム記録集	6. 最初と最後の頁 71-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤敦典, 岩井美佐紀, 比留間洋一	4. 巻 38
2. 論文標題 ベトナム・ハティン省における高齢者をめぐるケア・レジームの配置 村落地域の高齢者世帯と社会養護施設を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 京都産業大学論集・社会科学系列	6. 最初と最後の頁 97-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sayuri Minoda, Junko Aono, Satomi Higuchi, Chieko Kitagawa, Yoichi Hiruma, Masatada Aoki, Kiyoko Kusakabe	4. 巻 26
2. 論文標題 Analysis of the Japanese National Nursing Examination completed for the first time by Vietnamese Economic Partnership Agreement Nurse candidates - A true/false comparison with Japanese examinees	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 愛知県立大学看護学部紀要	6. 最初と最後の頁 83-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計23件 (うち招待講演 13件 / うち国際学会 6件)

1. 発表者名 ファン・ティ・ミー・ロアン, 道上 史絵・比留間 洋一・佐々木 良造・天野 ゆかり
2. 発表標題 介護福祉士国家試験の問題文理解に対する漢越語利用の有効性 ベトナム人技能実習生の事例
3. 学会等名 アジア人材還流学会 ハノイ国際セミナー2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐々木良造, 道上史絵, ファンティミーロアン, 比留間洋一, 天野ゆかり
2. 発表標題 ベトナム介護留学生のための 専門漢字語彙学習教材の開発
3. 学会等名 第25回専門日本語教育学会研究討論会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 天野 ゆかり
2. 発表標題 外国人留学生の受け入れと教育
3. 学会等名 日本介護福祉士養成施設協会全国教職員大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 比留間洋一、道上史絵
2. 発表標題 看護と介護の漢字語彙学習における漢越語利用の可能性と限界
3. 学会等名 第13回看護と介護の日本語教師研修（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 比留間洋一、大野俊
2. 発表標題 介護分野におけるベトナム人留学生と 技能実習生の現状認識等に関する比較分析 コロナ下での個別・グループ面談調査より
3. 学会等名 日本介護福祉教育学会第28回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 比留間洋一
2. 発表標題 ベトナムにおけるコミュニティ・ケアの社会文化的背景：ビンディン省の事例
3. 学会等名 ワークショップ「東アジアと東南アジアにおける高齢者の居住形態の選択」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 比留間洋一
2. 発表標題 ベトナム人介護技能実習生のアンケート調査結果と若干の考察
3. 学会等名 第48回日本保健医療社会学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 比留間洋一(発表者)、天野ゆかり(共同発表者)
2. 発表標題 「ベトナム人留学生の介護福祉士国家試験の解答困難点 - 母語を用いた調査の意義」
3. 学会等名 第27回日本介護福祉教育学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 比留間洋一(発表者)、ファン ティ ミー ロアン(以下、共同発表者)、道上史絵
2. 発表標題 「ベトナム人介護福祉士国家試験合格者の読解過程 - 漢越語非学習者を対象としたケーススタディー」
3. 学会等名 日本語教育方法研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 比留間洋一(発表者)、佐々木良造(以下、共同発表者)、ファン・ティ・ミー・ロアン、天野ゆかり
2. 発表標題 「ベトナム人介護留学生の読解困難点に関するケーススタディ - 介護福祉士国家試験問題を対象として - 」
3. 学会等名 日本語教育方法研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ファン・ティ・ミー・ロアン(発表者)、道上史絵(以下、共同発表者)、比留間洋一
2. 発表標題 「ベトナム人中上級日本語学習者はいかに漢字・漢字語彙を習得したか - 漢越語の利用に関する予備的なインタビュー調査より - 」
3. 学会等名 日本語教育方法研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ドアン・ヌー・ガー・ミー（発表者）、グエン・ティ・ラン・フオン（発表者）、比留間洋一（共同発表者）
2. 発表標題 「東嶋・渡辺著『今日からできる高齢者の誤嚥性肺炎予防』ベトナム語版作成を通しての日越の違い」
3. 学会等名 長崎大学・レスパティインドネシア大学共催「海外から見た日本の介護～口腔嚥下ケアを中心に～」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 比留間洋一
2. 発表標題 「日本のベトナム人介護士研究に関する現状と課題：EPAから留学生へ」
3. 学会等名 東南アジア学会(2021年度オンライン例会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 比留間洋一
2. 発表標題 「日本ベトナム経済連携協定の概要・歴史とその背景」
3. 学会等名 『外国人看護師』- アジアの高齢化と看護師の越境移動に関する今後の展望(静岡県立大学国際関係学研究所30周年記念イベント)(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 「日本における介護福祉士養成教育とキャリア支援」
3. 学会等名 「高齢者介護人材の育成と就業支援・指導」(JICA・中国国際経済交流共催)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 「現場から、研究から、外国人介護士受入れのヒント：介護現場・対象者に役立つ研究を考える」
3. 学会等名 日本・ベトナム介護セミナー（AHPネットワークス主催トヨタ財団助成）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 「介護労働の現状について」
3. 学会等名 「文化に即した外国人介護職の健康支援」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 「外国人看護師EPAに基づく受入は何をもたらしたのか 日本政府の政策評価からの視点で」
3. 学会等名 「『外国人看護師』 アジアの高齢化と看護師の越境移動に関する今後の展望」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 静岡県における外国人介護人材の受け入れと介護福祉士資格取得に向けた支援
3. 学会等名 静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会主催 第25回静岡健康・長寿学術フォーラム 令和時代の健康・長寿（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 比留間洋一
2. 発表標題 The impact of the COVID-19 on the recruitment, training and work of Vietnamese Care Workers coming to Japan
3. 学会等名 2nd Researchers Roundtable of AHWIN-Related ERIA Studies: Recent Findings and a Discussion of the Impact of COVID-19 on the Cross Border Movement of Care Workers (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 比留間洋一
2. 発表標題 日本におけるベトナム人介護士受入れの展開とジレンマ
3. 学会等名 ERIAアジアからの看護師、介護士の国際労働移動とキャリア形成研究会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 日本の新型コロナ対策の新たな介護技術の提案
3. 学会等名 中国浙江省老年研究センター安福国際養老サロン主催 日本の介護 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 天野ゆかり
2. 発表標題 日本から見たタイの高齢者ケア
3. 学会等名 野毛坂グローバル主催 日本の高齢者ケア (タイの自治体職員向け) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 堂園 俊彦、角田 ますみ、北西 史直、中村 美智太郎（編著）天野ゆかり他	4. 発行年 2023年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 160
3. 書名 在宅ケアの悩みごと解決マップ ケースで現場の問題「見える化」します	

1. 著者名 岩井 美佐紀（編著）比留間洋一他	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 440
3. 書名 現代ベトナムを知るための63章【第3版】	

1. 著者名 平野 裕子、米野 みちよ編（比留間洋一分担執筆）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学	5. 総ページ数 272
3. 書名 外国人看護師：EPAに基づく受入れは何をもたらしたのか	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究 分 担 者	比留間 洋一 (Hiruma Yoichi) (30388219)	静岡大学・国際連携推進機構・特任准教授 (13801)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 タイの高齢化と自治体の取り組み	開催年 2022年～2022年
---------------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------